

職場体験に関するアンケート（企業向け） 集計結果

- 実施期間：令和6年11月22日～令和6年12月20日
- 対象者：市内事業者

回答総数 38

Q1 回答者情報

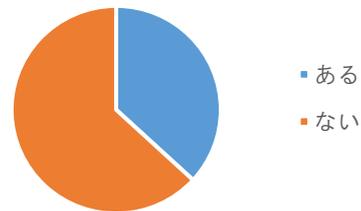
No	選択肢	回答数	率
1	法人	31	81.6%
2	個人事業主	7	18.4%

Q2 これまで中学生の職場体験を受け入れしたことはありますか？（1つ選択）

No	選択肢	回答数	率
1	ある	14	36.8%
2	ない	24	63.2%

→Q3へ

→Q6へ



（Q3～Q5は、Q2で「ある」と回答した方へ質問）

Q3 中学生の職場体験を受け入れた理由は何ですか？（複数選択可）

No	選択肢	回答数	率
1	地域貢献のため	13	92.9%
2	自社PRや業界の発展のため	10	71.4%
3	将来の人材確保のため	9	64.3%
4	例年受け入れしているため	3	21.4%
5	特になし	1	7.1%
6	その他	1	7.1%

その他

- ・ 普段は理解してもらえない部分を知ってもらいたい。

回答の約9割が「地域貢献のため」と回答していることから、職場体験が地域の事業所の協力のもとに成り立っていることが分かる。

また、半数以上が自社や業界のPR・人材確保を目的としており、事業所にとって受け入れのメリットはこういった点にあると推測できる。

Q4 職場体験を受け入れして「良かった」と感じたことはありますか？（自由入力）

主な回答

- ・ 自分の仕事や業界に興味を持ってもらえたことが嬉しい。（6件）
- ・ 企業名や仕事の内容を知ってもらえた。（4件）
- ・ 楽しそうに仕事をしてくれて、受入側も元気・やる気を貰えた。（3件）
- ・ 受け入れた生徒が大人になって店に来てくれた。
- ・ こどもたちの未来のためのお手伝いができること。

生徒に自分の仕事や業界に興味を持ってもらい、体験を通じて内容を知ってもらうことにメリットを感じている事業所が多かった。また、生徒を受け入れることで、事業所のモチベーションアップ等の好影響を与えているとの意見も見られた。

Q5 職場体験を受け入れして「改善してほしい」と感じたことはありますか？（自由入力）

すべての回答

- ・ 生徒によって仕事への興味関心のバラつきが多い。
- ・ 受け入れた人数が多すぎて十分な職場体験をさせてあげられなかったため、適度な人数で体験させてあげたい。
- ・ 長時間は避けたい。短時間でコンパクトなプログラムであれば受け入れしやすい。
- ・ 与えられる仕事があまりにも限定的になるため難しい。
- ・ 職場体験を受け入れるとしても1校、年1回、10名以内の受け入れを考えたい。

回答者のうち約3分の2が、改善してほしい点について「特にない」または無記入とした一方、受け入れする人数や日程、体験させる内容への不安を挙げる事業者も見られた。

(Q6は、Q2で「ない」と回答した方へ質問)

Q6 中学生の職場体験を受け入れしていない理由はありますか？（複数選択可）

No	選択肢	回答数	率
1	学校からの申し入れがなかったため	8	33.3%
2	営業に支障が出てしまうため	4	16.7%
3	人手が足りないため	7	29.2%
4	受け入れのメリットを感じないため	1	4.2%
5	特になし	4	16.7%
6	その他	9	37.5%

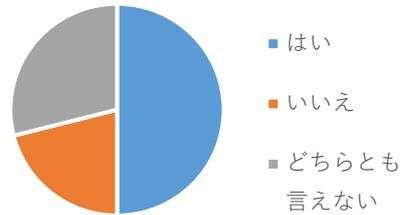
その他

<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険な作業でケガの危険性があるため。安全性の問題。（3件） ・ 機密性の高い情報を取り扱う業務が多いため。個人情報管理の問題。（2件） ・ 業務内容が職場体験には不向きなため。 ・ 受入体制が整備されていないため。 ・ 敷地への入構手続きが複数必要になるため。 ・ 中学生の職場体験の存在を知らなかったため。

「学校からの申し入れがなかった」ことを理由に挙げる事業者が最も多く、続いて「人手」や「業務内容」によるものが多かった。一方で、受け入れすることのメリットを感じないとした事業所はほとんど無かった。

Q7 今後、中学生の職場体験を受け入れたいと思いますか？（1つ選択）

No	選択肢	回答数	率
1	はい	19	50.0%
2	いいえ	8	21.1%
3	どちらとも言えない	11	28.9%



「はい」または「どちらとも言えない」との回答が全体の約8割にのぼったことから、職場体験先を拡充できる可能性は十分にあると判断できる。また、「いいえ」と回答した事業所の大半が業務内容が不向きだとするもので、職場体験自体への否定的な意見は見られなかった。

Q8 中学生の職場体験について意見があれば自由に記入してください。（自由入力）

主な回答

- ・ ケガなどの危険性が皆無であることが受け入れの必須条件であると思う。
そのため、職場体験ではなく職場見学でよろしいのではないか。
- ・ 学校の先生にも、地元こんな企業があると知ってほしい。
- ・ 中学生のうちから地元企業の魅力に触れることができるいい機会だと感じる。
- ・ 出勤方法の検討を願いたい。
- ・ 一般社団法人キャリア支援機構を通して見学の受け入れを行っている。
企業と学校の調整を代行してもらえるため、事務が簡略化でき助かっている。
- ・ 他校と日程が被ってしまい、断ったことがあり、学校ごとに別日になるといい。
- ・ 今まで中学生における職場体験の経験が無く不安な気持ちがある。
どうしても製造現場での安全教育に対して時間を取ってしまう。

職場体験に関するアンケート（教員向け） 集計結果

- 実施期間：令和6年11月22日～令和6年12月13日
- 対象者：市内中学校の教員

回答総数 21

Q1 職場体験の指導経験は何回くらいありますか（1つ選択）

No	選択肢	回答数	率
1	1回	6	28.6%
2	2～4回	3	14.3%
3	5回以上	12	57.1%

Q2 職場体験先はどのように選んでいますか？（複数選択可）

No	選択肢	回答数	率
1	過去に受け入れてもらった事業所	20	95.2%
2	生徒に候補を挙げてもらう	18	85.7%
3	自分や同僚が知っている事業所	9	42.9%
4	インターネット等で調べる	7	33.3%
5	外部（市・会議所等）からの紹介	8	38.1%
6	その他	1	4.8%

過去の実績や生徒が挙げた候補の中から選ぶことがほとんどで、教員が自ら事業所を調べ、新規開拓することは比較的少ないことが読み取れる。

Q3 職場体験に関する事務で「負担が大きい」と思うものはありますか？（複数選択可）

No	選択肢	回答数	率
1	生徒の希望集約・割り振り	17	81.0%
2	事業所への許可取り	19	90.5%
3	新規事業所の開拓	12	57.1%
4	事業所との打ち合わせ	7	33.3%
5	事前学習	4	19.0%
6	職場体験当日の巡回	6	28.6%
7	事後学習	3	14.3%
8	特になし	1	4.8%
9	その他	1	4.8%

1（事業所へのあいさつ周り）

約9割の教員が「事業所への許可取り」に負担を感じており、その負担感から職場体験先の固定化につながっている可能性がある。また、「生徒の希望集約・割り振り」にも負担を感じる教員が多いことから、職場体験先が多岐に渡る場合、負担が大きくなる恐れもある。

Q4 職場体験に関する事務におおよそどれくらいの時間を要していますか？（数字入力）

No	選択肢	回答数	率
1	1時間以上10時間未満	6	28.6%
2	10時間以上20時間未満	7	33.3%
3	20時間以上	8	38.1%

※最高値は「50時間」（2名）

教員や学校によって、職場体験への取り組みに差があると思われる。

Q5	職場体験の指導で意識していることはありますか？（複数選択可）		
-----------	---------------------------------------	--	--

No	選択肢	回答数	率
1	勤労観、職業観の育成	20	95.2%
2	自己理解の促進	8	38.1%
3	コミュニケーション能力、社会的スキルの向上	18	85.7%
4	社会生活に必要な知識、マナーの習得	17	81.0%
5	郷土愛の醸成（地域とのかかわり）	8	38.1%
6	特になし	0	0.0%

文部科学省が掲げる「職場体験の教育的意義」に基づき、選択肢を設けたが、「自己理解の促進」や「郷土愛の醸成（地域とのかかわり）」については職場体験の指導の中で意識されることが少ないようだ。

Q6	職場体験を通じて生徒がどのように変化していると感じますか？（自由入力）		
-----------	--	--	--

主な回答

- ・ 働くことの大切さや大変さを体験することで、勤労観を身に付けている。
- ・ 自分自身の将来について真剣に考える生徒が増えたように感じる。
- ・ その職業の現実を知って、将来の希望を変更しようとする生徒も少しいた。
- ・ 敬語や挨拶、礼儀など、普段教えていることの重要性を感じ取った生徒が多い。
- ・ ものの見方や考え方の多様性を知ることができている。
- ・ コミュニケーションの必要性を実感している。

Q7 現行の職場体験で「改善が必要な点」や「行政の協力が必要な点」があれば記入してください。（自由入力）

主な回答

- ・ 職場体験の受入事業所の一覧（人数や期間を含む）が欲しい。（10件）
- ・ 事業所と学校の間には行政が入ってマッチング等をしてほしい。（4件）
- ・ 生徒の希望職種を網羅できないため、幅広い職種で受け入れしてほしい。（3件）
- ・ （スケジュールが被ってしまうため）近隣学校の職場体験の日程が欲しい。
- ・ 郷土愛を育むため、地元企業や地域の事業所に受け入れていただきたい。
- ・ 日程的なものも含め、受け入れ事業所の開拓が最も大変。
- ・ 生徒が希望する業種が市内にない場合、交通手段が確保できない。
- ・ 1日ではなく、2日以上受入してもらえる事業所があるとありがたい。
- ・ 地域コーディネーターを毎年配置してほしい。

前出の回答にもあった、事業所とのやりとりにかかる負担の大きさを背景に、学校と事業所との間に行政が入って、職場体験に関する受入許諾や受入企業のリスト化を行ってほしいとの声が多かった。また、他校とスケジュールが被ってしまい職場体験先が限られてしまうこともあり、学校間の調整も行ってほしいとの声もあった。

Q8 その他、職場体験に関して意見があれば自由に記入してください。（自由入力）

主な回答

- ・ 職場体験にかかる時間と労力に見合った効果が得られていないように感じる。
- ・ 日程が他校や高校と被ってしまうため、年度初めに各校の日程が分かると良い。
- ・ 事業所の負担もあると思うが、1週間くらい連続して体験させたい。
- ・ 生徒の興味関心に応じた体験をさせるのであれば学校だけでは限界がある。
- ・ 職場体験で魅力を伝えることができれば、将来の人材確保のひとつとなると思う。